

事務事業名	里山林整備事業	担当	市民生活部 環境課 環境保全係	
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	4	自然環境の保護と地球温暖化対策の推進
成果指標	名称	単位	2 年度実績	
	整備した里山林の面積	ha		45.5
	管理面積	ha		42.5
	地域等管理団体	団体		8
事業概要	荒廃した森林を明るく安全な里山林へと再生するため、市、地権者及び地域等管理団体の3者で協定を結び、管理団体が行う保全管理活動を支援・促進するため、管理費を支援する。 平成20年度から「とちぎの元気な森づくり県民税」により開始された事業であり、10年で交付金はなくなったが、平成30年度より「とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業」の保全活動経費の交付金により財源は補填される。 平成28年度から、とちぎの元気な森づくり事業で整備された森林の保全活動が継続できるよう、市独自の支援制度である「もおかの明るく安全な森づくり事業」を開始した。			
2 年度実績・成果・課題	令和2年度は、昨年度から継続して8団体が、42.5haの保全活動を実施した。里山林を整備することにより、自然環境を保全し自然とのふれあいの場を確保でき、自然と潤いのある安全快適なまちづくりに結びついている。 また、荒れていた林が明るく安全な里山林へと整備され、ごみの不法投棄も減り、共同で作業することから地域の連帯感の醸成に役立っている。 10年間の協定期間が満了となる団体について、継続した自然環境整備を促進するため、再協定締結に同意してもらう手続きを進める必要がある。			
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 令和4年3月に2箇所（伊勢崎2、古山2）の里山林で協定期間満了となる。再協定締結にあたっては、10年間という長期にわたる協定となることから、地権者へ事業の説明を十分に行い、理解が得られるよう丁寧に手続きを進めていく。特に、相続等により、土地所有者が変更になっていたり、市外在住者である場合には、県及び市の森づくり事業の趣旨について、十分な説明を行った上で、再協定をお願いしていく。			